

# 仙台の次世代経営者 presence 対談



(株)清月記専務取締役  
**菅原 啓太氏**

すがわら・けいた  
1988年仙台市生まれ。中央大学経済学部卒業。(株)清月記専務取締役。2021年1月、公益社団法人仙台青年会議所第70代理事長就任。趣味は旅行。

連載 第11回

仙台、日本を拠点に、国内ばかりでなく、世界市場を見据えながら事業を展開している次代を担う若手経営者らに、活力ある仙台の経済活動や人材育成の在り方、そしてこれからの時代を生き抜くために必要な価値観や視点を、(株)清月記の菅原啓太専務が聞き出します。

## 「ミニバス指導者だった両親の影響でバスケットが身近になりました」

菅原 志村さんとバスケットとの出会いはいつ頃だったのですか。

志村 両親がミニバスの指導者だったので、小さなときからバスケットが生活環境で身近にありました。1992年のバルセロナオリンピックやNBAで活躍するマイケルジョーダンをテレビで観て、わくわくしました。小学5年生のとき、アメリカのアリーナでNBAの試合を観に連れて行ってもらい、演出や雰囲気などを直に触れることが出来たことは、大きな影響があったと思います。

菅原 プロバスケット選手を目指そうと思ったきっかけは。

志村 仙台高校時代に日本一になったことです。大学卒業後、実業

団チームの(株)東芝に入り3年間所属、その間、bjリーグが立ち上がり、もっと競技者としてやりたいと20008年仙台に戻り仙台89ERSに入団しました。18年、高校の先輩の渡辺太郎に誘われ、取締役GMとしてチーム編成と経営側に入りました。



志村氏が小学5年生のとき、バスケットの本場アメリカのアリーナで、NBAの試合を目の当たりにした記憶と経験がいまの仙台89ERSを創り上げている。

菅原 経営陣に入ったときの気持ちは。

志村 スポーツ選手にだけ引退という言葉が使われますが、私は引退ではなく転職という意識を持っていました。小学生時の本場NBAの雰囲気や記憶が残っており、アメリカのような空間を作ってみたいと以前から思っていました。本当に、タイミングとご縁しかありません。GMの話が来たときは、正直ありがたかったです。

## 「日本一になりバスケットが仙台の文化になること」

菅原 プロスポーツを運営していく中で、重要なことは何でしょうか。

志村 日本一になる経験があることがとても大切なことなのです。毎



仙台・清月記本社で

表現して組み立てるか、そしてその価値観を次の世代にどう伝えていくかがとても大切なことなのです。ところで前回の対談で、絵画アーティストの鈴木一世さんが「クリエイティブな人材を育てるには、生活環境の身近な所に絵画やアートがあることが大切だ」と語っていました。

菅原 最後に、次世代に向けてメッセージをお願いします。

志村 東京ではなく、仙台という地域でスポーツ、文化、経済のフロンティアを創りだしてほしいと思っています。

菅原 ありがとうございます。ご活躍を期待しております。



仙台89ERSのプレイヤーとして活躍していた志村氏

人、総収入12億円が条件という、チームの基準はありますが、人と金の集まりという事業化の側面からの視点による初の取り組みです。つまりバスケットによる経済、文化の価値による循環を作り出すことです。地元企業の皆さまからのご協力をお願いしたいと思っています。

菅原 葬儀業も同様で、いかに故人とご家族との関係性や時間をどう

村の公園などにバスケットゴールを設置する活動を進めています。

## (株)仙台89ERS社長 志村雄彦氏



しむら・たけひこ  
1983年仙台市生まれ。40歳。

小学3年生からバスケットを始め、仙台高校時代の1999年ウインターカップ初優勝。2000年に連覇後、富山国体優勝などを経験。慶應義塾大学4年生時に関東大学リーグ、インカレ優勝、MVP受賞。

2005年から2008年に実業団の(株)東芝で背番号「10」をつけ活躍、2005年オールジャパン(天皇杯)優勝。2008年から2018年、仙台89ERSに。背番号「4」。東日本大震災による仙台の活動停止を受け、選手救済制で琉球ゴールデンキングスにレンタル移籍。

2018年7月(株)仙台89ERS取締役GM、2020年7月から同代表取締役社長に就任。

東洋館  
おせち  
ご予約承り中

懐石料理 東洋館  
ご予約は 022-222-7019

## 「次の仙台」をどう創るか—文化力、人材育成—